

上越地域退職者連合

たっしやで上越の輪

★発行 2016年11月25日

★発行人 会長 笹岡慎一

★事務局 上越市西本町1-1-38
(総合生協会館内—連同上越内)

☎025-544-0550

第22回定期総会終わる

新たな体制と「上越退職者連合」に名称変更

上越高齢協は、9月22日、15時30分より直江津レインボーセンターにおいて第22回定期総会を開催しました。笹岡新会長は

【村山会長に代わって5月から会長代行を担ってきました。年々活動も活発になってきて、これまでニュースも5回発行し、学習会も2回開催し、多くの会員に高齢協運動が知られるようになってきました。上越市議選においては、連合推薦候補4人、更に参議院選挙においては『森ゆう子』氏を当選させました。戦争のない、福祉国家を目指さなければなりません。今日の総会で高齢協から「退職者連合」になります。総会終了号のマジックも楽しんでほしいし、親睦会で会員同志の親睦をふかめてほしい】の挨拶を受けました。

総会終了後は、アトラクションとして上越マジシャンクラブ会長の高嶺様より華麗なるマジックを披露していただきました。



笹岡新会長

今次総会の特徴は

- 1、会の名称変更です。「連同上越地域協議会」から「上越地域退職者連合」名称変更しました。尚、県高齢協は7月の総会で連合新潟退職者連合に変更されました。
- 2、役員体制です。従来3役体制を4役体制になりました。

出席頂いたご来賓は以下の方々です

早川県退職者連合会長様。労金直江津江端支店長様。
村山総合生協上越支店長様。早川連同上越事務局長様



高嶺様

2016年度幹事体制

役職	氏名	出身労組	役職	氏名	出身労組
会長	笹岡慎一	日本ステンレス労組	幹事	深沢勝美	全日通労組高田
副会長	金勝和久	NTT労組	幹事	堀川繁治	日曹二本木労組
事務局長	山崎泰一	市職労	幹事	白澤隆久	全農林上越支部
事務局次長	武田 滋	JR東労組	幹事	松浦信夫	県職労東頸支部
幹事	小池 洋	新教祖	幹事	太田吉昭	理研製鋼柿崎支部
幹事	小山正明	高教組	幹事	小林正男	大島農機労組
幹事	古川政繁	J P 労組高田支部	会計監査	大野敏夫	有沢製作所労組
幹事	長谷川茂	J P 労組上越支部	会計監査	秋山主一	全農林高田支部

連合推薦議員との「意見交換会」開催

高齢者・退職者の暮らしの環境をいかに守っていくのか

退職者連合幹事会は（この時点は高齢協）8月24日、約2時間にわたり連合推薦4名を含む5名の市議員（栗田、牧田、田中、小竹、小林）との意見交換を行いました。

意見交換の目的は

上越地域における高齢者・退職者の暮らしの環境づくりの為、連合推薦市議員との連携を深め問題解決に向けて話し合いを進めていこうというものです。

初めての試みということもあり、特に課題も決めず、最初は戸惑いもありましたが、様々な意見、質問が出され認識の一致も若干できました。今後は定期的も含め様々な課題に向けて意見交換を行うことを確認しました。



5名の市議員



退職者連合3役

地域包括ケアシステムとは

時期は団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途にし

目標は重度な介護状態となっても、住み慣れた自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように。

手段としては、医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される体制のこと

しかし、様々な問題が生み出されています。例えば①住み慣れた地域とは在宅を意味するのか、地域にある「施設」も含むのか。②入所申し込者＝入所必要者ではない。③2025年の病床数を新潟県において2割削減する、等々。このような問題を解決するために、これからも意見交換をしていきます。

より永く自立して生きるために

「要介護にならないため」の・・・第3回学習会

10月24日、14時～上越市民プラザ第1会議室において介護保険事業を現場で担う上越市社会福祉協議会の職員を講師（参事・吉崎譲様、社会福祉士ケアマネージャー・竹田善人様）に会員、家族62名が参加して学習会を開催しました。

山崎事務局長の司会で始まり、主催者を代表して、笹岡会長は「通算3回目の学習会を開催することができました。吉崎、竹田両氏から講演をいただきます。学習会が有意義に終了するよう皆様のご協力をお願いします。」の挨拶を受けて進められました。

講師からは、

『介護予防のため、「集団に交わり、体と頭を使うこと」の大切さが強調されました。また将来、生活に心身の不便を感じたら、地域包括支援センターに相談するよう勧められました。心配事や、悩みごとを一人で抱え込まず、身近な人に相談、できないときは地域包括センターを利用しましょう。』と強く訴えられました。



講師の吉崎、竹田氏

講演終了後、3名の方から質問を受けました。最後に金勝副会長の閉会のあいさつで終了しました。

アンケートに寄せられた意見、要望、感想

学習会終了後、参加者からアンケートを取らせていただきました。62名中59名の方から回答していただきました。学習会に対する評価は85%の方から評価をいただきました。尚、その中で3人の方のご意見を載せさせていただきました。

「テーマから「要介護にならないため」の具体的方法がきけると思って参加したが期待はずれであった。福祉協等の役割を知っておくことは必要と思うが集まった人間に向けて関係する部分を全内容を30分程話してもらえば十分だと思う。」

「いずれ自分も周囲の方々にも迷惑をかけることになるのではと危惧している所です。何か事が発生したら社協や、包括センターへの相談が大切であるとわかり、心強く感じました。」

「高齢者の仲間いり、今まで人のことと思っていました。これからは病気、認知症にならないためにも今から予防に努めていかなければと思っ
ています。」

☆上越地域退職者連合 加盟団体

日曹二本木高齢者協議会

- ★会 長 内田義昭 他幹事4名
- ★会員数 98名
- ★結 成 昭和50年2月

【主な活動】

- ◎ 総会兼懇親会（1泊2日）
- ◎ 幹事会（年3～4回）
- ◎ 日曹労組・中郷勤労連合同新春旗開きに参加
- ◎ 日曹労組・定年退職者送別会に参加（年2回）

たっしゅで上越の輪絆

◆・・・仲間絆◆・・・
当会の特徴は会費を集めなくてもよいところです。定年退職時に積立してある組合費の内から10年間分の会費（2400円・年×10年＝24000円）天引きし前納会費として労組の方で当会の通帳に振り込んでくれるというシステムになっています。したがって会員は退職してから10年間です。それ以降は『賛助会員』として退会希望がない限り残ってもらっています。会費を集める苦労がない反面、会員意識が薄れるという問題があり総会等の参加率が悪いという悩みがあります。仲間意識を持って一人でも多くの仲間と退職後の絆を深めていけるよう活動していきたいと思っております。

新潟県高校退職者の会上越支部

- ◆支部長 浅野寿一（役員は幹事除4役9人）
- ◆会員数 196名（2016年10月現在）
- ◆結 成 1982年5月
- ◎支部総会と事務局会議10回（4役）幹事会
（平成7年に高田支部と直江津支部合併）

【主な活動】

- 支部便り（年2回）新高退通信（年4回）手配り
- 学習会（9月）地域探訪（10月）
- 現職との交流「教育問題懇談会」
- 忘年会、懇親会（総会終了後）
- 同好会（カラオケ、囲碁、ハイキング、古文書）

退職後も学びと団結を大事に

学習会や地域探訪などの盛んに行っていますし、時には平和・人権・環境等の問題について関心を持って現役時と変わらぬ活動等にも参加しています。

また元気で長生きを願い、四つの同好会が活発に行われ健康づくりに取り組んでいます。特に新高退通信、支部便り等は、経費節減と会員の状況把握の為に、可能な限り手配りをしているのが特徴です。少子化が進み退職教員数も減少し、それと同時に加入者も減り、会員数の減少が課題です。

今後も上越地域退職者連合の一員として連帯して活動を発展させて行きたいと思えます。

上越退職者連合は「新潟県労働者福祉協議会」の会員です。

仕事や暮らしのこと、解からないこと、困った時には いつでもご相談
お問い合わせください!

連海上越 ☎ 025-544-0550